

(しろかね1ちょうめせいぶなか)

NO. 247 白金一丁目西部中地区(組合施行)

1 計画の概要

計画地	港区白金一丁目、三丁目地内		
計画の概要	1	地区内に十分な幅員の道路が少なく、歩行者の安全性の確保や車両動線の円滑化が課題であり、また、広場等のまとまった規模の空間がなく、老朽化した住宅と工場が混在するなど、防災機能が不十分で、さらに隣接商店街との連続性が欠けているなど、市街地環境の改善が求められていた。	
	2	街区再編による土地の集約化、道路、広場などの基盤施設の整備・拡充により市街地の整備水準を高める。	
	3	定住性の高い良質な住宅の導入や、地域の賑わい軸である白金商店街と連携する商業機能を導入し、さらに地域産業である工場機能を適切に配置することで、住宅・商業・工場などの機能が融合した魅力ある複合市街地を形成する	
地区面積	約1.6ha	構造	A地区 鉄筋コンクリート造、一部鉄骨造 B地区 鉄骨造
階数	A地区 地上39階 地下1階 B地区 地上4階	高さ	A地区 約140m B地区 約15m

2 都市計画の内容

名称	白金一丁目西部中地区第一種市街地再開発事業	施行区域面積	約1.6ha			
公共施設の 配置及び規模	名称	幅員	延長	面積	備考	
	道路	区画道路1号	10m	約150m	—	新設
	区画道路2号	10m	約130m	—	拡幅	
区画道路3号	8m	約110m	—	拡幅		
建築物の整備	街区	建蔽率	容積率	建築物の 高さの限度	壁面の 位置の限度	主要用途
	A	—	—	140m	2m、3m、5m	住宅、店舗、生活利便施設、駐車場
	B	—	—	20m	2m、3m、5m	工場、住宅、駐車場
		建築面積	延べ面積(容積対象)	住宅建設の目標		
A	約5,100㎡	約98,000㎡ (約72,500㎡)	約900戸	約87,000㎡		
B	約600㎡	約2,000㎡ (約1,700㎡)				
建築敷地の 整備		建築敷地面積	整備計画		備考	
	A	約11,200㎡	・憩いや交流機能を担い、災害時にも活用できる広場を整備する。 ・歩行者の安全性、快適性及び回遊性の向上を図るため、道路沿道に歩道状空地を整備する。		建築物の高さは T.P.+8.0mからによる	
B	約1,000㎡					
都市計画決定	平成30年7月2日 港区告示第185号					

3 高度利用地区

地区名		面積	容積率の 最高限度	建蔽率の 最高限度	容積率の 最低限度	建築面積の 最低限度	壁面の位置 の限度
白金一丁目西 部中地区	A	約0.3ha	650%	60%	250%	200m ²	2m、3m、5 m
	B	約1.1ha	650%	40%	250%	200m ²	2m、3m、5 m
	C	約0.2ha	400%	60%	150%	200m ²	2m、3m
都市計画決定	平成30年7月2日 港区告示第184号(変更)						

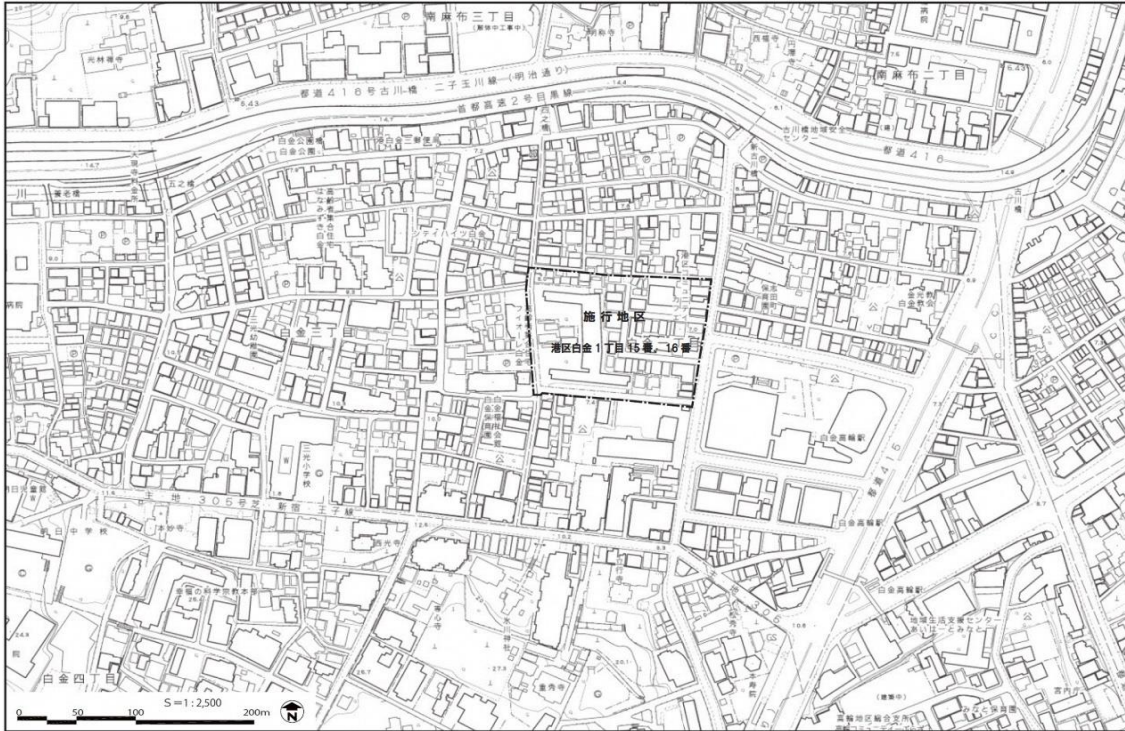
4 事業計画の概要

敷地面積	A街区:約11,126m ² B街区:約1,020m ²	建蔽率	A街区:約45.8% B街区:約62.4%
延べ面積	A街区:約97,719m ² B街区:約1,987m ²	容積率	A街区:約629.3% B街区:約163.9%
用途	A街区 住宅、子育て支援施設、 店舗	住宅戸数	約960戸
	B街区 住宅、事務所、工場	駐車場	A街区:約274台 B街区:約9台
事業認可	令和4年6月24日 東京都告示第969号	総事業費	約790億円

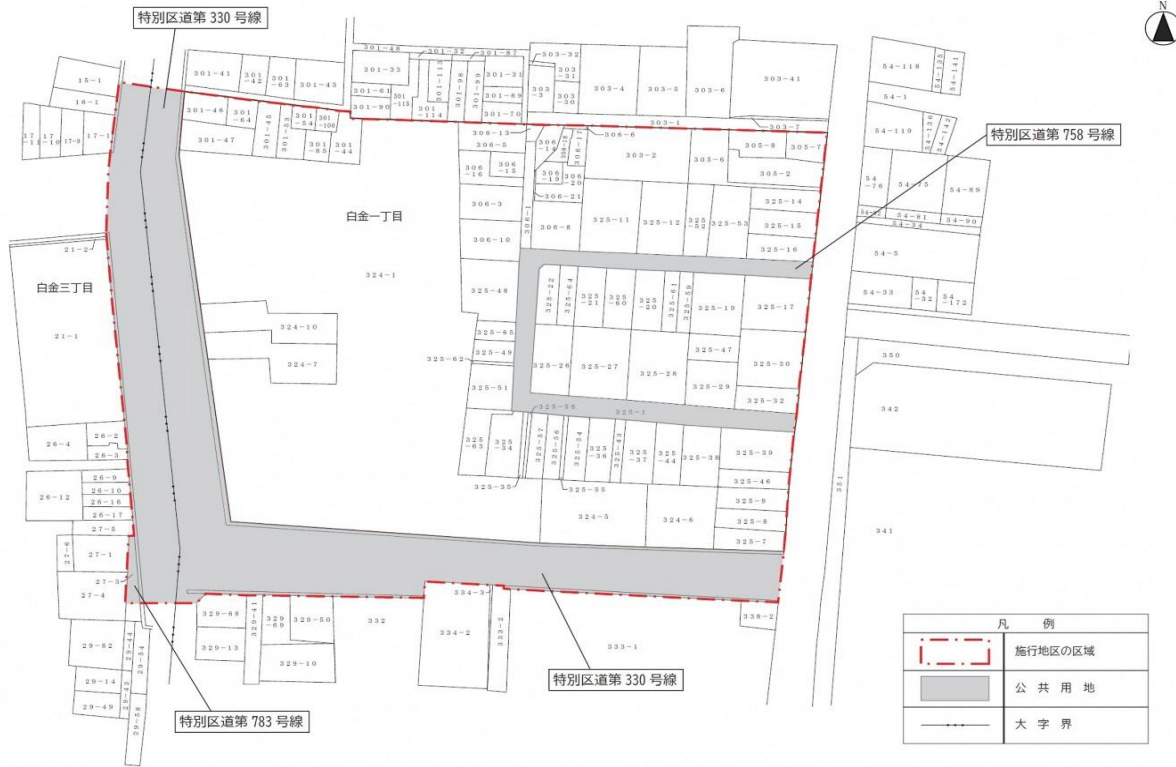
5 経緯

年月日	内容
平成18年7月	「白金一丁目中地区まちづくり研究会」発足
平成19年10月	「白金一丁目中地区再開発研究会」へ改組
平成25年4月	「白金一丁目西部中地区市街地再開発準備組合」設立
平成30年7月2月	都市計画決定及び変更 (第一種市街地再開発事業、地区計画の決定) (高度利用地区、高度地区の変更)
令和4年6月24日	組合設立認可

6 位置図



7 区域図



8 完成予想図

